国語：読み手と目的を決め、案内文を書き直す

講師用メモ・バージョン 4

第1〜2ページは架空の行事Aを使う支援・説明例です。第3ページの行事Bは別の資料で、C1〜C5の本課題に使います。必要な情報は読み手と目的で変わるので、語句の並べ方を一つの正解に固定しません。ただし時刻・対象・場所・持ち物など、与えられた事実の無断変更は避けます。不明なことを埋めるために事実を作らず、確認したいこととして別欄に残します。C3の初稿を消さずに、C4の読み手の質問とC5の改稿を並べます。講師が完成文を先に見せず、生徒の説明から支援します。読み手役は迷う箇所を本文の言葉で具体的に伝え、書き手は助言を採用した理由、採用しなかった理由のどちらも説明してかまいません。C6では別の架空の行事Cで、対象と目的を変えて書きます。解答例と評価の観点は講師用PDFに分け、生徒用ボードには表示しません。C1〜C5の続きは共有欄や紙に書けます。実際の授業での試用や日本語母語話者による確認はまだ行っていません。

練習問題の解答はこの講師用メモに分けています。編集版であり、実際の授業での試用はまだ行っていません。

C1〜C3：資料から、自分の案内文へ

C1. 行事Bの読み手と目的を一文で確かめ、案内に必要な事実を資料から選んでください。資料だけでは分からないことも一つ別に残し、なぜ書き足さないか説明します。

解答・確認の観点：読み手は指定2クラスの参加希望者、目的は変更後の会場へ迷わず来られること。日時・対象・変更後の場所と変更の説明・持ち物・申し込み条件などを選ぶ。人数など不明なことを推測で事実にしない。目的との関連を説明できれば情報の示し方は一つに固定しない。

C2. 行事Bの案内を二つの段落に分ける構成を考えます。各段落に入れる内容と役割を書き、どの情報を先に置くと読み手に伝わるか説明してください。

解答・確認の観点：例：第1段落で会場変更・日時・対象を知らせ、第2段落で持ち物と申し込み条件を伝える。変更を見落とさない構成が理由と対応すれば、日時から入る等の別案も認める。二段落は本課題の条件で、すべての案内文に必須とは教えない。

C3. 行事Bの資料を基に、120〜180字程度の案内文を二つの段落で書いてください。元の下書きを写すだけにせず、変更点を明らかにし、資料にない事実や保証を足していないか確かめます。初稿は消さずに残してください。

解答・確認の観点：対象・木曜日16時〜16時20分・2階の多目的室への変更・本1冊と筆記用具・申し込み不要が、目的に沿って正確に伝わるかを見る。「明日」「いつもの場所」だけに頼らず、根拠のない保証をしない。記述の順序や表現は複数認め、字数だけで達成を判断しない。

C4〜C6：対話で直し、別の設定で書く

C4. 読み手役になってC3の初稿を読み、伝わった点を一つ、まだ迷う点を一つ、本文の言葉を示して伝えてください。書き手は、資料のどの事実で答えられるか、又は何を確認する必要があるかを説明します。

解答・確認の観点：例：変更後の場所が具体的で助かる / 変更前の場所と混同しそうなので変更を見つけやすくしてほしい。実際の初稿に即した助言を認める。初稿が明確なら無理に誤りを作らず、さらに確かめたい点を挙げてよい。分からない事実は確認課題に残す。

C5. C4の対話を踏まえて行事Bの案内文を改稿し、初稿と並べてください。変更した箇所と理由を一組示し、変えなかった事実も資料で確認します。助言を採用しなかった場合は、その理由を説明してください。

解答・確認の観点：改稿の前後・読み手の助言・変更理由が対応し、事実が保たれているかを見る。必ず誤りがあるとは決めず、採用しない判断も目的と資料に即して説明できれば認める。漢字・語句・指示語・語順・文末も読み手の立場で確かめる。

C6. 別の行事C（架空）：火曜日の12時40分〜13時、理科室で、1年生を対象に紙の模型づくりを行う。定員は先着8人、申し込みは不要。紙と道具は係が用意し、持ち物はない。読み手は参加を迷っている1年生。目的は、

参加条件と準備が分かるようにすること。 この設定で、別の案内文を90〜150字程度で書いてください。行事Bから変えた情報を二つ以上挙げ、資料にない内容を足していないか確かめます。

解答・確認の観点：行事Cの対象・日時・理科室・先着8人・申し込み不要・持ち物なし等が目的に沿って正確に伝わる。Bの曜日・開始時刻・場所・持ち物等を流用して事実を混ぜない。書く順序や表現は複数認め、字数のみで評価しない。

利用と出典表示

© 2026 MomentDesk / PRYADKO DANILA. 無料・有料の授業で利用し、自分の授業用に変更できます。共有時はMomentDeskの出典表示を残してください。テンプレートの転売や、自作としての再公開はできません。

文部科学省『中学校学習指導要領解説 国語編』中1 B書くこと、冊子60〜64ページ — https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf#page=64